

〔全国出場団体(ベスト4プラス)〕

・雙柳館前一色道場・下有知剣道少年団A・志道館学園B・池田剣道場・剣林館道場・一剣B・清心会・羽島市剣道教室A・中央剣道少年団・賜生道場B・双葉剣道少年団B・一剣A

※中学生の部〔六十四チーム参加〕

(各団体から選抜二チーム参加三人制)

優勝 志道館学園A

準優勝 桐生町少年剣道教室A

第三位 志道館学園B

〃 那留剣道スポーツ少年団A

〔全国出場団体(ベスト4プラス)〕

・八心会A・八心会B・大垣西部剣道少年団A・悟道館後藤道場A・さくら少年剣道部A・池田剣道場B・清心会・飛騨国府剣士会A・羽島市剣道教室A

〔個人戦の成績〕

(各団体から選抜一名参加)

※小学生男子県代表者賞〔三十一名参加〕

鈴木 蒼人(一剣)

森 奏斗(神武館神山道場)

※小学生女子県代表者賞〔二十九名参加〕

川島悉花瑠(誠心剣友会)

和田 衣真(那留剣道スポーツ少年団)

※中学生男子県代表者賞〔三十四名参加〕

大野 温史(桐生町少年剣道教室)

松浦 崇大(緑苑剣道少年団)

※中学生女子県代表者賞〔三十二名参加〕

大野 夏鈴(桐生町少年剣道教室)

川島萌々華(誠心剣友会)

### ◎第四十一回岐阜県道場

#### 対抗剣道大会

六月十八日(日)

メモリアルセンター剣道場

(先)小学生(次)中学生(中)二十九歳以下(副)三十歳以上(大)四十歳以上という年齢制限の下、自団体で三年以上修行している選手のみでチームを構成し、道場が一枚岩となって、弟子から師へ襷を繋ぎ、今年度岐阜県優勝団体の栄冠を目指す本大会に、今年は十二団体が参加しました。師弟で力を合わせ、剣道を丸一日楽しもうと、三チーム四リーグ戦を行い、各リーグの一位二位による決勝トーナメント戦を実施し、上位二チームに全国大会出場権が与えられました。

〔団体戦の成績〕 県代表団体賞

《優勝》志道館学園

(監)加藤 隼人 (先)三宅 翔大

(次)三宅陽一朗 (中)菱田 和輝

(副)加藤飛雄馬 (大)加藤 洋基

《準優勝》桐生町少年剣道教室

(監)水小瀬直樹 (先)瀬木 慎平

(次)大野 温史 (中)長瀬 隼人

(副)瀬木 広之 (大)東森 洋介

### ◎第四十六回体験実践発表 岐阜県予選並びに稽古会

十月一日(日)

メモリアルセンター剣道場

勝った負けたの向こう側に…。剣道を通じて何を学び実践し、人として如何に成長したかを発表する大会に十一団体、百二十名の剣士と二十名ほどの指導者、

百名近い保護者が集い、小学生四名、中学生六名の発表に耳を傾け、心を振るわせ、発表会終了後、基本指導、指導者への掛かり稽古、地稽古を行い、共に、汗を流しました。

〔小学生県代表者賞〕

山田 わ華(蘇原第二剣道少年クラブ)

〔剣道で努力していること〕

二位 藤原 宏旭(悟道館後藤道場)

〔中学生県代表者賞〕

的場 紅羽(悟道館後藤道場)

〔道〕

二位 山田 彩都(羽島市剣道教室)

### ◎各地区大会の実施

- ・飛騨地区大会 十二月十日 高山市
- ・加茂地区大会 三月十日 八百津町
- ・岐阜地区大会 三月十日 各務原市
- ・中濃地区大会 三月十日 美濃市
- ※〔本年度登録数〕
- ・加盟団体数 四十三団体
- ・会員登録選手数 七百二十一名
- (文責) 岐阜県剣道道場連盟事務局長 早矢仕克己

中止していた岐阜県実業団剣道大会を4年ぶりに規模を縮小し、年齢別個人戦は中止、男女団体戦(3人制)のみ開催しました。

コロナ感染拡大前は、男子70チーム、女子20チーム、個人戦200余名と多くのチーム、選手に出場して頂いていましたが、今回、男子24チーム、女子4チーム、選手90余名と出場チーム数が減少となりました。男子は予選リーグと決勝トーナメント、女子は4チームがリーグ戦で対戦。各試合場、多くの熱戦が繰り広げられ以下の結果となりました。

男子団体

優勝 エヌテックA(坂口・内村・三浦)

準優勝 日本耐酸塩(稲葉・大木・野見山)

3位 志道館志友会(菱田・安田・森本)

エヌテックB(川村・桐原・絹川)

女子団体

優勝 パローホールディングス(境井・市来・宮田)

準優勝 イビデン(藤野・大島・伊藤)

3位 Ks会(赤尾・大塚・小木曾)

藤原建設(尾河・坂東・中間)

来年度、第48回岐阜県実業団大会は以前のように年齢別個人戦、男女団体戦の実施が出来る様準備を進めてまいります。ので多数の参加をお待ちしております。また、合同稽古会も再開する計画をしていますので合わせて参加をお願い致します。

(記) 岐阜県実業団剣道連盟

理事長 都竹直孝

## 実業団の活動

### ◎実業団活動報告

本年はコロナウィルス感染症の影響で